

NEC、生成AI提供 法人用に来月から 売り上げ500億円目標

2023/7/7付 | 日本経済新聞 朝刊

NECは6日、独自の生成AI（人工知能）を8月から法人向けに提供すると発表した。日本語での能力は世界トップクラスといい、それぞれの企業向けの知識を学習させて業務で活用する。他社製の生成AI活用支援も含め、2025年度までに生成AI関連事業での累計売り上げを500億円以上にすることを目指す。



生成AIについて説明するNECの吉崎執行役（6日、東京都港区）

それぞれの顧客向けに独自の知識を学習させたモデルを作成する。金融機関では顧客の個人情報を入力することでその人にあった資産運用を提案できるようにする。6日に東京都港区の本社で開いた記者会見で、吉崎敏文執行役は「顧客と一緒に使い方を検討し、現場の意思決定に使ってもらいたい」と話した。

まずJR東日本や三井住友銀行、大和証券グループ本社、積水ハウスや早稲田大学など約10の法人がNECの生成AIを利用し、使い方を検討する。10月には生成AIへの質問作成を支援するソフトウェアや、回答の正確性を高めるソフトウェアを提供し、業務で活用しやすくする。

3月に稼働したAI研究用のスーパーコンピューターをつかい、生成AIの基盤となる「大規模言語モデル（LLM）」を短期間で開発した。